

気持ちが分からないこともない。頭が痛ければ、痛み止めを飲みたくなる。が、なにごともほとんどおかない。

26歳のF子さん。もともと頭痛もち。疲れがたまると、頭が締め付けられるように痛くなる。その都度、市販の鎮痛剤で対処していた。医者に診てもらったことがない。それが、2カ月くらい前から、頭痛が続くようになった。毎日のように市販薬を飲む。最初は、薬が効いた。が、最近、朝から頭痛がする。ひどくなったら困るので、すぐに薬を飲む。1日3回飲むときもある。だんだんと、薬が効かなくなってきた。「きつと、脳腫瘍に違いない」と深刻である。

念のため、頭のMRI（磁気共鳴画像）の検査をする。もちろん、異常はない。だが、このままの状態が3カ月続けば、F子さんは間違いなく「薬物乱用頭痛」と診断される。鎮痛剤の飲み過ぎによって起こされる頭痛だ。薬物乱用頭痛は、頭痛もちの女性に起こりやすい。どうしてかはよく分かっていないが、鎮痛剤の飲み過ぎると痛みに過敏になってしまうのだ。

月に15日以上頭痛がするほど。鎮痛剤の種類によって違うが、10日から15日以上飲む人。そのうち、朝から頭痛が始まるようになる。ひどくなるのが嫌で予防的に鎮痛剤を飲んだりして、回数が多くなる。で、薬物乱用頭痛となれば、治りにくく、再発しやすい。

いや、F子さんのように、そうなる前でも、治療にしよう。まずは、使っていた鎮痛剤を2週間は飲まないように話す。が、「なら、痛い時はどうするの？」と泣き出しそう。頭痛の予防薬や違う種類の鎮痛剤を処方する。が、「頑張る」と約束したものの、3日で挫折だ。今度は、新しい鎮痛剤の乱用が始まるのではなからうか。ほとんどではない患者さんに、頭が痛い。

（石黒修三＝いしくろくにっく・脳神経

外科医…7/18北國新聞掲載）